



星の郷総合教室

No. 175

平成27年 1月25日発行

電話072-895-6230

名前 _____

塾報受取日 _____ 月 _____ 日

星の郷教室 2月の予定

1月28日(水) 2月度授業料引落日
(2月9日 引き落とし予備日)

1月26日(月) 西日本大会締切

2月8日(日) 1~3級・段位試験

☆2月8日検定について☆

2・3級…星の郷教室 午前8時

1級…北大阪会議所 午前11時20分

段位…星の郷教室 午前8時

当日は午前7時に教室を開けます。自由に練習してください。1級は会場に直接行ってください。時間に余裕を持って行動してください。会議所までの行き方についての案内は教室にありますので必要な方は申し出てください。1級受験の中学生以上は生徒手帳が必要です。段位試験は前日受験ができます。希望者は申し出て下さい。

特別練習の予定と対象者

1月31日 午後5時~7時

○アドバンスト・チーム (A-team)

○珠算1~3級・段位受験者

○西日本大会出場者

2月7日 午後3時~7時

○珠算1~3級・段位受験者

2月14日 午後5時~7時

○アドバンスト・チーム (A-team)

○西日本大会出場者

○近畿大会出場者

2月21日 午後5時~7時

○アドバンスト・チーム (A-team)

○西日本大会出場者

○近畿大会出場者

○暗算検定受験者

中学生クラス

2月の全ての火曜日の午後7時20分から9時までを中学生クラスとして開放します。学年末テストの勉強やそろばんの練習に充てて下さい。

全国計算競技大会結果

1月18日 大阪府社会福祉会館
団体総合競技 3位 星の郷総合教室
(金本三夢 金本大夢 金本愛夢)
個人総合競技高校生以下の部

1位 金本 大夢

8位 金本 三夢

9位 金本 愛夢

10位 大内 悠聖

15位 大内 峻聖

29位 岩成 海

読上算 4位 金本 大夢

読上暗算 1位 岡田 秀樹

種目別競技 乗算 3位 金本 三夢

乗暗算 1位 金本 大夢

乗暗算 4位 金本 三夢
除暗算 2位 金本 三夢
見取算 3位 金本 大夢

☆昨年3月の165号塾報で紹介しました当教室最高齢の練習生岡田秀樹氏(53)が、全国計算競技大会の読上暗算で優勝しました。28年ぶりの快挙です。大会では、5桁~13桁の問題をただ一人正解しました。若手がどんどん台頭してくる中、超ベテランの活躍に会場からは驚きのどよめきと大きな拍手が沸き起こりました。

出席時間20時間以上の生徒

(1月20日までの1ヶ月)

河野美紅41 和泉初音33 金本愛夢33
平生絵理33 岩瀬菜々香32 和泉琴音29 西井萌29 山内美空29 岡田亜瑠28 神山周28 見山紀子28 金本大夢27 藤江茉奈27 盛井結子26 大内峻聖25 村田拓己25 由比彩菜25 大土井楓賀24 見山真菜24 奥田あさひ23 金本三夢23 木村理仁23 山根未来23 古川愛佳22 大土井穂賀21 大内悠聖21 甚野ひな21 平生義智21 岩成海20 近藤楓20 湊結子20

(あと1時間だった皆さん)

大上航正19 入口寛都19 堀さやか19
渡邊安菜19 渡邊一貴19

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

中川海翔40 大土井慧賀39 野々村誉良39 小林千尋35 奥野貴也29 柳田涼音27 松田和真26 渡邊一貴24 広田里久22

フラッシュ暗算合格者

(1月20日までの1ヶ月間)

二段 田代和花 平生絵理
福井夏歩 由比彩菜

初段 田代和花 和泉琴音 大上航正

1級 池田優花

3級 西村優星

4級 金子直毅 茅島悠斗 渡邊安菜

5級 高津侑良 分林椿 村田拓己
渡邊一貴

6級 渡邊一貴 辻翔太 津隈瑛翔

8級 近藤楓 石川ひなた

9級 近藤楓

10級 藤本湛

様々なことを学ぶJ1練習

たし算・引き算と、桁や十進位取りについて学ぶ初歩教材PERFECTが終わると、J1という練習に入ります。Jは、JUNIORの頭文字をとったもので、「はじめの第一歩」というようなイメージで命名しました。J1問題は2桁の数字3つのたし算が10題、2桁5つのたし算が10題、2桁7つのたし算と引き算の混合問題が10題の合計30題です。

該当者は、自己の最高タイム更新を目指して取り組みます。自分の最高タイムに40秒をたしたタイムを制限時間として、制限時間内に計算が終わった人の中から最高得点者を勝者にするというシステムです。

6分でできても制限時間が5分50秒であればタイムオーバーで勝者になることができず、制限時間が9分の方が8分でできれば勝者になることができます。参加者の誰にでも優勝するチャンスがあるのがJ1練習です。

このように興味を高めるために勝者を毎回決めてはいますが、実は勝負をすることがJ1練習の目的ではありません。

J1の目的は、①加減の方法を完全に習得すること ②手・指の動きの改

善 ③計算速度を上げる ④無駄な動作の洗い出しと改善 ⑤集中力を高める ⑥暗算力の養成 ⑦ささやかな成就感と挫折感を味わうなど、実に多岐にわたります。もともとは、PERFECTの4冊目が終わってかけ算九九を覚えるまでのつなぎ練習として始めたものですが、続けているうちに生徒たちの様々な変化から目的（効果）が次々と増えていきました。

J 1 練習を卒業するには、2桁5つのたし算を珠算式暗算で計算できるようになることと、かけ算九九の完璧な暗記が条件です。珠算式暗算とは、あたかも実際のそろばんを弾くようにして頭の中で計算することで、この能力の習得こそがそろばん学習の最大の目的です。何度も繰り返しJ 1の練習を続けていくことで、必ずできるようになっていきます。

平均して前述のたし算・引き算30題を6分以内でできるようになるとJ 1卒業条件を満たす暗算力が備わってきますがそこにたどり着くまでに先の目的が次々と達成されていきます。

現在、J 1練習に取り組んでいるのは23名で、卒業条件のうち九九の完璧な暗記を満たしていない生徒が5名います。この28名がたまたまいっしょに居合わせた時間帯で前述のやり方で競い合っています。以下は計算時間の変化の一例です。

初回の練習で計測された時間と、現在の最高タイムを併記しています。

生徒	初回タイム	現在のタイム
小1女子	13分14秒	6分30秒
小1男子	12分37秒	7分51秒
小1男子	12分13秒	6分59秒
小5男子	13分39秒	7分36秒

小5女子	8分39秒	5分40秒
小3女子	12分13秒	5分57秒
小3男子	14分45秒	9分21秒
小1男子	11分24秒	6分46秒
小2男子	14分 9秒	7分57秒
小2女子	13分55秒	5分34秒
小2男子	20分42秒	15分5秒
小1男子	9分7秒	5分35秒
小1男子	10分50秒	5分35秒
小3女子	10分50秒	6分37秒
小1男子	9分45秒	4分58秒

計算量と計算時間だけでいえば、5分でできると商工会議所検定試験の3級に合格するレベルです。この時点ではかけ算とわり算の計算方法を知りませんから実際に合格できるわけではありませんがやり方さえ覚えれば集中力と速度はその域に達しているのです。

どの生徒も大幅にタイムを縮めています。縮めるために細かい指導を入れてはいますが、それだけで劇的に改善されるわけではなくて、J 1練習グループが醸し出す「空気」が計算速度のアップに役立っています。ヨーイはじめ、というかけ声に瞬時に反応してプリントを表返し、間髪入れずに計算を開始する動作などは、周囲の動きに触発されてのものです。その勢いを30題分持続させた結果、最高記録が出たり最高点が出たりすることで練習意欲が強化されてさらに「良い空気」を醸成していくのです。

ところで、J 1には、以上述べてきた技術面や精神面での伸びに加えて、「社会面」での変化も現れてきます。

J 1練習では生徒同士が答案を交換して採点します。解答ファイルを見ながらの採点では“ベテラン”が“新人”に指導する場面が見られます。

あるいは早く計算が終わった生徒がまだ計算しているメンバー分の解答ファイルを自発的に持っていったり、計算の邪魔をしないように注意して動いたり…。

幼稚園年中の生徒がJ1参加メンバー分の問題を自主的に取りに来たこともあります。それを見ていた他のメンバーが今度はその役を買って出たりして、なにやらちょっとした「伝統」ができています。

すべての生徒が通るJ1練習は、今後の技術面・精神面・社会面での上達を目指すための基礎作りとして欠かすことのできないものとなっています。

様々なことを鍛える教室

入会からJ1までは練習内容が決まっているので不安無く過ごせますが、J1を卒業するといろいろな練習メニューが組み込まれていきます。それにともない、座る席や制限時間に変化が出てきたり、練習問題も自分で取りに行くことが増えてきて、とにかく目の前にある問題を解けば良かったそれまでの環境から変化します。

この変化、ある生徒にとっては、わずかなものだと感じるものが、別の生徒にとってはとんでもなく大きな変化だと感じるようです。

激変であったとしても、一週間も経過すれば何の問題もなくなる程度のことですから、それを知っている私は、意地悪なことに困惑している生徒がどのように対処するかを黙って見ています。そして必要であれば、少しずつ、本当に少しずつ、解決法を示唆していきます。

「今日の練習について説明をします。説明は1回しかしません。その代

わり、誰が聞いてもわかるように今日は特別に日本語で話します」なんて言うと、多くのベテランたちはニヤニヤしながら聞きますが、環境の変化に対応するのが大変な生徒は、「1回しか言ってもらえない???日本語で話す???」となって、思考が停止するようです。

なんてことはありません。説明が断片的にしかわからなくとも周囲の様子を見て同じように行動すれば間違いはないのですが、「〇〇くん、△△さんは、～～します。いいですか、〇〇くんと△△さんは～～するのですよ」と、具体的に名前を呼ばれて作業指示を複数回受けることに慣れている人には、一回の指示で理解して動いたり、周囲を見て合わせる訓練や意識が不足しがちで、うまくいきません。わからなければ質問をすれば良いという意識で聞くことに慣れている人にとっても「一回しか説明しません」という宣言は精神的な余裕を奪われることになるでしょう。

人は失敗から様々なことを経験し、学びます。赤ん坊の時から転んだりあちらこちらにぶつかりながら成長してきたのです。そして同じ失敗を繰り返す回数を減らしながら大きくなっていくのです。

そろばん塾では安全な失敗がたくさんできますので、どうか何度でも失敗して学んで欲しいと思います。

中年太りのおなかをせり出し肩を落として視線もうつろな人間が数ヶ月後には別人に変化するライザップのCMをご存じでしょうか。習う前と習った後で変化するのはそろばん学習も決して引けをとらないと自負しています。